

ネットに上がった動画で拡散する  
怪異がテーマだ  
事故現場の映像には、呪いや怨念  
が残っているかもしれない  
閲覧注意だ！

# 呪い感染

テーブルトークRPG

シナリオ

文■稗田浩介  
監修■力造<sup>りきぞう</sup> / N.G.P.

## シナリオ『閲覧注意』

### 概要

ある日の夜、PCたちはスマートフォンの画面に勝手にポップアップした動画で、どこかの駅で起こった人身事故の映像を見ます。その映像には線路上で下半身を轢断された若い女が助けを求めて呻いている姿が映っています。その翌日の夜、ふたたびスマートフォンの画面に動画が映り、下半身がない恐ろしい姿の女がまるでこちら側に迫ってくるかのような映像が再生されます。映像はその女が迫ってくる途中で途切れるように終わります。そしてPCたちに〈呪印〉が刻まれます。

その動画はネットに流布している「閲覧注意」という呪いの動画の都市伝説で、見ると4日以内に事故で死亡した女がその人物のもとに現れるといわれています。女は毎夜呪いの動画を見た者の前に現れると徐々に這い寄って近づいて来て、4日目にその女が現れた時にその人物は無残な死を遂げるといわれています。

その後、呪いの動画を見たPCたちを怪奇現象が襲い始めます。PCたちは襲いくる怪異と対峙し、呪いを解いて生き延びることができるでしょうか？

### 参加者とPC

このシナリオはGM1名、PC最小2体～最大4体に対応しています。

GMは、PLにサンプルPCを使用させるか、オリジナルのPCを作成させるかを決定してください。

### 特別ルール

このシナリオでは、[初見表]を振る場合、必ず9:[SNS]となります。これは、導入が個別になるので合流しやすくなるためです。

### 登場NPC

このシナリオに、NPCは登場しません。

ただし、このシナリオは、PCたちの選択次第では[大切な人]

が犠牲となります。「事件フェイズ」の日常を演出するシーンなどで[大切な人]を登場させるなどして[大切な人]を印象付けてください。

### 【場所表】

このシナリオは、【場所表「都市」】を使用します。

### 〈なにか〉の正体

このシナリオに登場する〈なにか〉は、実際に起こった凄惨な鉄道人身事故と、カシマさんやテケテケといったいくつかの都市伝説が混同されて生まれた〈這う女〉という怪異です。

その姿は、スーツを着てうつ伏せに這いつくばった格好の女性ですが、そのスーツは所々が破れて血に染まり、腕は無残に折れ曲がっていて、腰から下が轢断されてなくなっています。垂れ下がったぼさぼさの長い髪が口元以外を隠しており、その唇に塗られた紅い口紅が目を引きます。そして、その長い髪の隙間からは、憎悪に満ち、血走り黄色く濁った目が覗いています。〈這う女〉は、下半身からはみ出した内蔵を引きずりながら、折れ曲がった両腕で這いずり、呪った相手をどこまでも追いかけます。

なお、〈這う女〉は次の〈正体〉を持っています。

### 《近代の怪異》×1

シーン：恐怖／コスト：「偶・偶」／対象：1

効果：[恐怖表]を振る直前、対象に[《近代の怪異》]を取得した数+1dの[効果算出]を与える。

### 《恐怖が好物》×1

シーン：判明／コスト：「偶・4」／対象：1

効果：対象は[判定ダイス]のー[《恐怖が好物》]を所得した数+1]d。



## 《凶悪》×1

シーン：恐怖／コスト：「1・1」／対象：使用者

効果：対象は[恐怖表]の[効果算出]＋[《凶悪》]を取得した数＋3]d。

## 《事件フェイズ》

このシナリオは、PCどうしが初対面でも知り合いでもありません。

日常シーンから数日後の夜、PCたちがひとりの時にスマートフォン（もしくはパソコン）を操作していると、急に画面に動画がポップアップし勝手に再生を始めます。動画はどうやっても停止することができません。アプリやビューワーを閉じることがおろか、スマートフォンやパソコンの画面を消したり、電源を切ることもできません（この現象は、PCたちの〈呪印〉の影響です。PCがこの時点でまだ〈呪印者〉となっていないと、既に影響を受けています）。

動画は、どこかの駅のホームでざわつく乗客たちが映し出されたところから始まり、映像はそのままホームからすぐ脇の線路へと移ります。そこには、線路上に倒れ、こちらに助けを求めて呻いているスーツ姿の若い女がいます。しかし、縋るようにこちらに向けられたその手は無残に折れ曲がり、下半身は血に染まって腰から下がありません。周囲が喧騒と悲鳴に包まれる中、女が顔を動かして視線がこちらに向いたところで唐突に映像が途切れます。女がこちらに視線を向けてから映像が途切れるまでは僅か数秒ですが、PCは確かに映像の中の女と視線が合ったと感じます。

翌日の夜、やはりPCがひとりになったタイミングで、スマートフォン（もしくはパソコンやテレビなど映像を表示できる機器）の画面がつき、映像が映し出されます。その映像にはPCが今いる場所が映っています。やはり、映像はどうやっても停止することはできず、画面を消したり電源を切ることもできません。しばらく見ていると、映像の奥の物陰（そのPCのいる場所に依じて、道の先にある曲がり角だったり、廊下の奥にある半開きになったドアだったりします。物陰がなければ画面の外からとしてください）から、気味の悪い形状の影が濡れた何かを引きずるような気味の悪い物音とともに姿を現します。その影は、スーツ姿でうつ伏せに這いつくばった女ですが、腕は奇妙な形に曲がっており、何よりも下半身がありません。その女の影は、顔を伏せて俯いたまま、呻くような声で何かをつぶやきながら、折れた腕で這うようにしてゆっくりと画面のこちら側へと向かって来ます。そこで映像はまたも唐突に途切れます。

その直後、PCはそれぞれ利き手の甲に刺されたような痛みを感じます。手の甲を見ると、まるで毒虫に刺されたかのように腫れあがり、やがて腫れは青い勾玉形へと変化します。もし、PCがまだ〈呪印者〉でない場合は、映像が途切れた直後にスマートフォンからメールの受信を報せる着信音が鳴り響きます。PCたちがメールの内容を確認した場合、ルールブックにある「呪印感染って、知ってる？」の内容をPCに対して読み上げてください。その後、PCのそれぞれ利き手の甲に刺されたような痛みとともに〈呪印〉が刻まれます。PCたちがどのような反応をするにせよ、ここで「導入」を終了させます。

## 《解決フェイズ》

このシナリオにおける特殊なシーンには、次のものがあります。

## 《シーン:GM》／特定の《シーン:判明》の終了後

このシーンはPCの人数によって発生するタイミングが異なります。

PC2名の場合は、[制限時間] 5の[シーン:判明] 終了後。

PC3名の場合は、[制限時間] 4の[シーン:判明] 終了後。

PC4名の場合は、[制限時間] 3の[シーン:判明] 終了後。

即座に[シーン:GM]を発生させて演出します。

GMはPCが2日目(最初の鉄道事故の動画を見てから3日目)の夜に、どこに誰といるのか確認してください。

PCのスマートフォン（もしくはパソコンやテレビなど映像を表示できる機器）の画面がつき、映像が映し出されます。その映像にはそのPCが今いる場所が映っています。やはり、映像はどうやっても停止することはできず、画面を消したり電源を切ることもできません。しばらく見ていると、映像の奥の物陰からスーツ姿の女が気味の悪い物音とともに這い出して来ます。その腕は奇妙な形に折れ曲がっており、腰から下が無い体を引きずっています。前回（1回目）の映像の時と同じように、その女は顔を伏せて俯いたまま、呻くような声で何かをつぶやきながら、折れた腕で這うようにしてゆっくりと画面のこちら側へと向かって来ます。しかし、映像は前回と違いそこで途切れることなく続きます。女が近づくとともに、その姿が詳細に見えてきます。女が着ているスーツは所々が破れて血に染まり、その腕は無残に折れ曲がっています。そして、腰から下の下半身が轢断されて無くなっており、そこからはみ出した内蔵を引きずっています。顔は俯いているためにぼさぼさの長い髪に隠れて見ることはできません。そこで映像は唐突に途切れます。

映像はPCがひとりだけでなく夜になると勝手に映し出されます。映像は呪われたPCたち以外には見え、他の人には真っ黒な画面しか見えません。PCが周囲に映像機器を置かないといった場合には、鏡や窓ガラス、水などに映った景色の中に〈這う女〉を出現させてください。PCが夜にどこかに閉じこもった場合は夢の中に現れてもかまいません。

## 《シーン:GM》／特定の《シーン:判明》の終了後

このシーンはPCの人数によって発生するタイミングが異なります。

PC2名の場合は、[制限時間] 3の[シーン:判明] 終了後。

PC3名の場合は、[制限時間] 2の[シーン:判明] 終了後。

PC4名の場合は、[制限時間] 2の[シーン:判明] 終了後。

即座に[シーン:GM]を発生させて演出します。

GMはPCが3日目(最初の鉄道事故の動画を見てから4日目)の夜に、どこに誰といるのか確認してください。

PCのスマートフォン（もしくはパソコンやテレビなど映像を表示できる機器）の画面がつき、映像が映し出されます。その映像にはそのPCが今いる場所が映っています。やはり、映像はどうやっても停止することはできず、画面を消したり電源を切ることもできません。しばらく見ていると、それま



での2回の映像と同じく、奥の物陰からスーツ姿の女が気味の悪い音とともに這い出てきます。その腕は奇妙な形に折れ曲がり、腰から下がない体を引きずっています。前回の映像の時と同じように、その女は顔を伏せて俯いたまま、呻くような声で何事かをつぶやきながら、折れた腕で這うようにしてゆっくりと画面のこちら側へと向かって来ます。女が近づくとともに、その姿が詳細に見えてきます。女が着ているスーツは所々が破れて血に染まり、その腕は無残に折れ曲がっています。そして、腰から下が轢断されて無くなっており、そこからはみ出した内蔵を引きずっています。顔は俯いているためにぼさぼさの長い髪に隠れて見ることはできません。

やがて画面のすぐ向こうまで女が近づいて来ると、先ほどからつぶやいている言葉がわずかに聞き取れます。女は、「……ちょうだい……その……を、ちょうだい……その……を、ちょうだい……」と繰り返しながら、まるで映像の中から画面のフレームに手をかけようとするかのようにゆっくりと手をこちらに伸ばしてきます。そこで映像は唐突に途切れます。

映像はPCがひとりだけでなく夜になると勝手に映し出されます。映像は呪われたPCたち以外には見えず、他の人には真っ黒な画面しか見えません。PCが周囲に映像機器を置かないといった場合には、鏡や窓ガラス、水などに映った景色の中に〈這う女〉を出現させてください。PCが夜にどこかに閉じこもった場合は夢の中に現れてもかまいません。

## [シーン:GM] / [真相③] の[情報]の公開直後

[真相③]の[情報]に続いて即座に[シーン:GM]を発生させて演出します。内容はキーワードの情報[F-1情報:真相③]に続けて記載してあります。

## [シーン:GM] / クライマックス

PCのいずれかが[★決戦]か、[★儀式行使]への[判定]を宣言した直後に、即座に[シーン:GM]を発生させて演出します。GMは次の描写を読み上げてください。

準備はすべて整った。あとはその時を待つだけだ。

長いような短いような時間の後、唐突にスマートフォンの画面がつくと、あの映像が映し出された。

画面の中——これまでと同じように、映像の奥の物陰から這い出てきた〈這う女〉は、無残に折れ曲がった腕で下半身のない体を引きずりながら、ゆっくりと画面のこちら側へと近づいてくる。

「……ちょうだい……その……を、ちょうだい……」

呻くような不気味な泣き声が耳に届く。

〈這う女〉は画面のすぐ向こうまで近づくと、無残に折れ曲がった腕をこちらへと伸ばして——まるで窓枠でも掴むように、映像の中から画面のフレームに手を掛けた……！

そして、上半身を起こし、そのままゆっくりと顔を上げていく。

「……ちょうだい……その足を、ちよおだあいい……！」

叫ぶような声と共に、〈這う女〉の顔が見上げるようにこちらを向いた。

垂れ下がったぼさぼさの長い髪が口元以外を隠し、紅い口紅が塗られた唇が叫びの形に開かれている。

そして、長い髪の隙間から、憎悪に満ち、血走り黄色く濁った目が覗いているのが見えた……！

次の瞬間、ずるり、という音が聞こえたような錯覚を覚える。

スマートフォンの小さな画面から、大人の女性と変わらない大きさをした「それ」が画面の外に這い出てきた！

## [シーン:GM] / エンディング

[真相②]の★[イベント]を[クリア]した場合、PC全員の[エンディング]が終了した後で、PC全員を対象に[シーン:GM]を発生させて演出します。GMは次の描写を読み上げてください。

呪いから逃れた数日後、日常に戻れた喜びを噛みしめていると、それぞれの[大切な人]から連絡があった。

変な動画を見たあとから、毎晩スマートフォンに気味の悪い女が這い寄って来る動画が映るのだと。

その話を聞いて、なぜか確信めいた直観を感じる。

自分たちが拡散させた、あの「呪いの動画」を見てしまったのだ。

焦りを感じながら話を聞くと、もう映像の中の〈這う女〉は目前に迫っているという。

時間が、ない……。

絶望感と後悔に、目の前が真っ黒になった。

大切な人がいなくなってしまう……その原因を、自分が作ってしまったのだ……。

呪いの動画についてPCたちが[大切な人]に話をしていたり、注意をしていても、この結末を迎えた場合には[大切な人]は呪いの動画を見て呪われてしまいます。拡散された動画はタイトルを変えられたり、動画サイトで自動再生されるようになっていたりして、[大切な人]は何らかのきっかけでそれを見てしまうのです。PCたちが相談されたときにはもう[大切な人]を助けることはできません。[大切な人]はその日の夜に足を奪われて惨たらしい最期を迎えます。

プレイヤーにPCの[大切な人]を新たに設定させてください。もし希望があるなら、PCの[願い]を変更させてもかまいません。

## キーワード

本シナリオのキーワードは次の通りとなります。

- C-1: 事故動画
- C-3: 呪いの動画
- D-4: 這う女
- F-4: 生存報告
- F-6: 真相①
- C-6: 真相② (追加キーワード)
- F-1: 真相③ (追加キーワード)



## キーワードの情報

## C-1 情報：事故動画

最初の動画で見た映像は、十年ほど前に某県で実際に起こった鉄道人身障害事故の映像のようだ。被害者は帰宅途中の若い女で、ホームから転落して電車に下半身を轢断されて死亡したという。動画は駅の利用客が撮った映像のようだが、あまりに凄惨な内容だったためにニュースなどには使われなかったらしい。だが、この映像はネットに上げられて拡散され、閲覧注意の動画として一部で話題となったという。

それから数年が経過し、ネットでもこの動画の話題が上がらなくなかった頃、この動画はある噂で騒がれ始める。その噂とは、この動画を見ると事故で死亡した女が現れるという都市伝説めいたものだ。

## C-3 情報：呪いの動画

十年ほど前に某県で実際に起こった鉄道人身障害事故の映像の動画は、見た者の所へ事故で死んだ女が現れるという呪いの動画としてネットに噂になっている。

その噂では、「閲覧注意」とだけタイトルがつけられたこの動画を見ると、見た者の所へ一週間以内に事故で死亡した下半身のない女が現れるという。その女は両手で這いずりながら近づいてくるが、途中で姿を消してしまう。翌日もまた女が現れ、昨日よりも近づいて来てくがやはり姿を消してしまう。さらにその翌日も女は現れると、前日よりも近づいて来て姿を消してしまう。しかし、その時にはもう女は目前までやって来ているという。そして4日目、動画を見た者は女に捕まり、足を引きちぎられて殺されてしまうという。

最近ネットでは、この呪いの動画と関連付けられて〈這う女〉という都市伝説が広まっている。その話では、事故で死んだその女は毎晩動画の中に現れるという。そして4日目に現れた時にこちら側へと這い出して来て、呪った相手を取り殺すという。

また、類似した都市伝説として、話を聞いた者のもとに現れるという、カシマさんやカシマレイコといった怪談が以前から知られているが、何か関係はあるのだろうか……？

## D-4 情報：這う女

〈這う女〉とは、呪いの動画を見た者の所に一週間以内に現れて取り殺すという下半身がない女だ。

〈這う女〉は、某県で起こった鉄道の人身事故で、ホームから転落して電車に轢かれて死亡した若い女で、その事故で女は電車の車輪に腹部を轢断され、その下半身は車輪に巻き込まれてバラバラになってしまった。しかし、不思議なことに女は腰から上の上半身だけで十数秒間生きていた。女性は駅のホームにいた乗客や駅員に助けを求めたが、事故のあまりの凄惨な状況に女性を助けようとする者はなく、女はなくなった自分の下半身を探しながら苦痛に悶えて死んだという。

その事故で死んだ女の無念と怨みが〈這う女〉となり、事故を撮影した動画に乗り移って呪いの動画を生み出したのだろうか……？

また、類似した都市伝説として、同じように鉄道や踏切の事故で胴体を轢断されて上半身のみで現れる、テケテケやサツ

ちゃんといった怪異が以前から知られているが、何か関係はあるのだろうか……？

何にせよ、これだけネットに噂が上がっているならば、呪いから逃れる手だても見つかるのではないだろうか。

GMは[物語展開シート]C-6マスに[キーワード:真相②]を追加すること。

## F-4 情報：生存報告

呪いの動画の呪いから生き延びる方法を探していると、ネット上に、呪いの動画を見て〈這う女〉が現れたが、その呪いから逃れることができたという書き込みを見つけた。その人物は、知り合いの憑き物落として有名な拝み屋に頼んでお祓いしてもらったらしい。お祓いしてもらえば呪いを解くことができるということだろうか……？

GMは[物語展開シート]F-1マスに[キーワード:真相③]を追加すること。

## F-6 情報：真相①

死の運命から逃れるためには、〈這う女〉をどうにかして撃退するしかない。だが、相手が映像の中ではどうしようもないであれば、4日目に〈這う女〉がこちら側に現れた時が唯一の機会だろう。

寺社の御札、お守り、数珠、破魔矢、塩、十字架、聖水、ヒランヤ……とりあえず幽霊や怪異などに効果がありそうなものは可能な限りすべて揃えた。なんとしても生き延びなければ……！

**[特殊イベント]: ★ [決戦] に判定可能。**

## C-6 情報：真相② (追加キーワード)

呪いの動画について調べていくと、呪いの動画を見て〈這う女〉が現れたが、その呪いから逃れて生き延びたという話がいくつかあることがわかった。さらに調べていくと、生き延びることができた者たちは皆、「閲覧注意」の動画をネットにアップさせて相当数拡散させたいらしい。これらの話が本当ならば、もしかしたら動画を拡散させることで呪いが薄まったり、他者に呪いを移せるのかも知れない。

ただ、呪いの動画を拡散すれば別の誰かが呪いによって死ぬことになるかもしれないが……。

もうあまり時間はない。やるならば、すぐにも作業を始めたほうがいだろう。

**[特殊イベント]: ★ [機械操作] に判定可能。**

[特殊イベント]: [真相②]の[情報]を得た状態で、[真相①]の★[決戦]や[真相③]の★[儀式行使]のイベントをクリアした場合、PC全員は[希望]+2。

## F-1 情報：真相③ (追加キーワード)

生存報告の書き込みにあったお祓いについて調べてみたが、どうやら神社で行なってもらえるような一般的な修祓とは違うものようだ。

さらに書き込みにあった拝み屋について調べてみると連絡先が判明した。



GMは即座に[シーン:GM]を発生させ、下記のシーンを演出します。[情報]を入手したPC以外にも希望するPCを登場させてかまいません。

拝み屋の連絡先に電話を掛けると、まだ若い女性が電話に出ます。拝み屋について聞くと、拝み屋をやっていたのは女性の祖父であることがわかりますが、その祖父は半年前に亡くなったと伝えられます。女性に事情を説明すると、拝み屋の業を継いだものはおらずお祓いをすることはできないが、祖父が遺したお祓いの方法を記した書物を貸すことならできるといいます。場所はPCたちのいる場所から電車か車ならば片道2、3時間の距離です。

向かう先は、山間の小さな集落にある古民家と言って差し支えないような日本家屋です。その玄関の戸の上には、家紋なのか5つの頂点をもつ星形——五芒星が刻まれています。

玄関に付けられた時代を感じさせるデザイン性の欠片もないようなインターホンのボタンを押すと、20代ぐらいの女性が出てきます。その声から電話で対応してくれた拝み屋の孫の女性であることがわかります。女性の手には和綴じの古い1冊の書物とPCたちの人数分の藁と布で作られた人形があります。女性はPCたちに、手にしていた書物とともに、祖父がお祓いの儀式で使用していた贖物という道具だと説明して人形を渡してくれます。

お祓いの方法が記されているという和綴じの書物はかなり年季の入ったもので、表紙に墨で記された題名らしき文字がありますが掠れていて読めません。書物の中身も墨で書かれた古い文で読解するのも難しいのですが、文字の隣に万年筆の青い字で訳や解釈などがびっしりと書き込まれています。目を通すと、お祓いの内容は、贖物という形代に呪いを移して身代わりとする儀式であることがわかります。

儀式の手順と概要は、まず、案という台を2つ向かい合うように配置して、一方の案の上にスマートフォンを、もう一方の案の上には、墨で自分の名前を書き数本の髪の毛を埋め込んだ贖物を置きます。そして、贖物を置いた案の後ろに鏡を掛けた柱を四方に置き注連縄でそれぞれの柱を結んだ境界を設置します。PCたちはこの境界の中に入り、儀式が終わるまで九字を唱え続けます。

また、書物には二つに折られた一枚の紙が挟まれています。そこには、拝み屋が〈這う女〉の呪いを祓った儀式のことが記されており、〈這う女〉は、事故の被害者である女の無念と怨みの想いに、都市伝説として噂が語られる内に様々な念が混ざり込んで生まれた強力な怪異で、彼の力では調伏することは叶わなかったことが口惜しさとともに綴られています。もし〈這う女〉を打ち倒し調伏することができれば、〈這う女〉を自らの呪詛の念から解放してやることができたかもしれないと締め括られています。

拝み屋の孫「お電話くださった方ですよね？ 遠いところ大変でしたでしょう」

拝み屋の孫「これが、拝み屋をしていた祖父が残した書物です。あと、祖父はお祓いの儀式でこの人形を使っていた……確か、贖物とか、何とか……」

拝み屋の孫「私では何のお手伝いもできませんが、皆様のご

無事をお祈りしております」

**【特殊イベント】:★**[儀式行使]に判定可能。

## 【結末フェイズ】

### 【クリア】成功時の結末

[真相①]の★[イベント]を[クリア]すると、〈這う女〉は絶叫を上げて消え去ります。

もし、PCたちが[真相③]の[情報]を得ていた場合、〈這う女〉が絶叫を上げて消え去った後に、スーツ姿の綺麗な若い女の姿が現れます。女は穏やかな顔で「これでやっと……」と呟くと、溶けるようにその姿は消え去ります。この場合、即座に[特殊イベント/有利]が発生し、PC全員は[希望]+4されます。この特殊イベントの処理は、★[イベント]の[クリア]直後に行なってください。

[真相②]の★[イベント]を[クリア]すると、PCたちが上げた動画はネットに拡散されていきます。4日目の夜が過ぎても、例の映像は出現せず、〈這う女〉も現れません。ただし、この結末を迎えた場合、[エンディング]の最後に[シーン:GM]が発生します。

[真相③]の★[イベント]を[クリア]すると、〈這う女〉はPCたちの代わりに贖物の人形の足を引きちぎって持ち去ります。〈這う女〉が消え去ったそこには、足が失われ、藁が真っ黒く変色した贖物の人形が残されています。

どの[真相]の★[イベント]を[クリア]しても、【命運】が0以上のPCの(呪印)は鮮やかな黒へと変色します。

逆に【命運】は-1以下のPCは(呪印)が禍々しい赤へと、変色していることに気づきます。

その後、GMは[行動順]に従って、PCの[エンディング]を1体ずつ演出させてあげてください。

### 【クリア】失敗時の結末

[制限時間]を迎えた時点で、[真相]の★[イベント]を[クリア]していない場合、PCたちは〈這う女〉に足を引きちぎられて惨たらしい最期を迎えます。激痛と出血で薄れゆく意識の中、PCたちは自らの(呪印)が禍々しい赤へと、変色していることに気づきます。

翌日、PCたちがそれぞれ違う場所で同じような死体で発見されたことはニュースで大きく取り上げられ、ネットでは呪いの動画を見て呪い殺されたのだと話題になります。

F-6 ●[関係性]	F-5 ○[関係性]	F-4 ○[関係性]	F-3 ○[関係性]	F-2 ○[関係性]	F-1 ○[関係性]
真相① イベント12 ★[決戦]		生存報告			真相③
E-6 ○[関係性]	E-5 ○[関係性]	E-4 ○[関係性]	E-3 ○[関係性]	E-2 ○[関係性]	E-1 ○[関係性]
D-6 ○[関係性]	D-5 ○[関係性]	D-4 ○[関係性]	D-3 ○[関係性]	D-2 ○[関係性]	D-1 ○[関係性]
		這う女			
C-6 ○[関係性]	C-5 ○[関係性]	C-4 ○[関係性]	C-3 ○[関係性]	C-2 ○[関係性]	C-1 ○[関係性]
真相②			呪いの動画		事故動画
B-6 ○[関係性]	B-5 ○[関係性]	B-4 ○[関係性]	B-3 ○[関係性]	B-2 ○[関係性]	B-1 ○[関係性]
A-6 ○[関係性]	A-5 ○[関係性]	A-4 ○[関係性]	A-3 ○[関係性]	A-2 ○[関係性]	A-1 ●[関係性]
					事件発生